

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応について

このたびの新型コロナウイルスは、水産業界においても計り知れない影響が出ています。

新聞等でも報じられている通り、新型コロナウイルスの影響で国内外の経済情勢が厳しさを増す中、水産物においても需要の減少や魚価の下落により、せっかく出漁して獲れた魚が売れないなどといった問題が各地で起きており、迅速な支援が急務となっています。

漁業共済団体はこのような状況を鑑み、水産庁の指導のもと、ぎよさいの契約上の柔軟な対応や積立ぶらすの漁業者積立分の仮払い、積立金の積立猶予等の特例対応の実施に向け取り組んでおります。

また、「三つの密」を避けるべくテレワーク等を導入しながら、ぎよさいや積立ぶらすの事務が滞ることのないよう、漁業共済団体役員一丸となって業務に邁進していきます。

今年度から新たなスローガン「令和の備えも『ぎよさい』と『ぶらす』」を掲げて展開する「ぎよさい普及推進全国運動」は、漁業経営にとって前例のない厳しい環境の中でのスタートとなりました。しかしながら、制度の周知不足によって漁業経営のセーフティーネットが機能しないといったことのないよう、感染拡大防止に留意しつつ、行政庁および漁業関係団体との連携を図り、ぎよさい及び積立ぶらすの制度のより一層の浸透・定着に努めて参ります。大変な状況下ではありますが、関係者の皆様の御支援、御協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和2年度の加入実績（4月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	今年度	前年度	前年	今年度	前年度	前年
漁獲共済	36,551	32,811	111%	2,141	1,897	113%
養殖共済	16,743	15,096	111%	355	311	114%
特定養殖共済	1,458	1,460	99.9%	55	54	102%
漁業施設共済	2,258	1,997	113%			
地域共済	499	451	111%			
合 計	57,510	51,815	111%	2,551	2,263	113%